

導入事例

蕪崎市役所

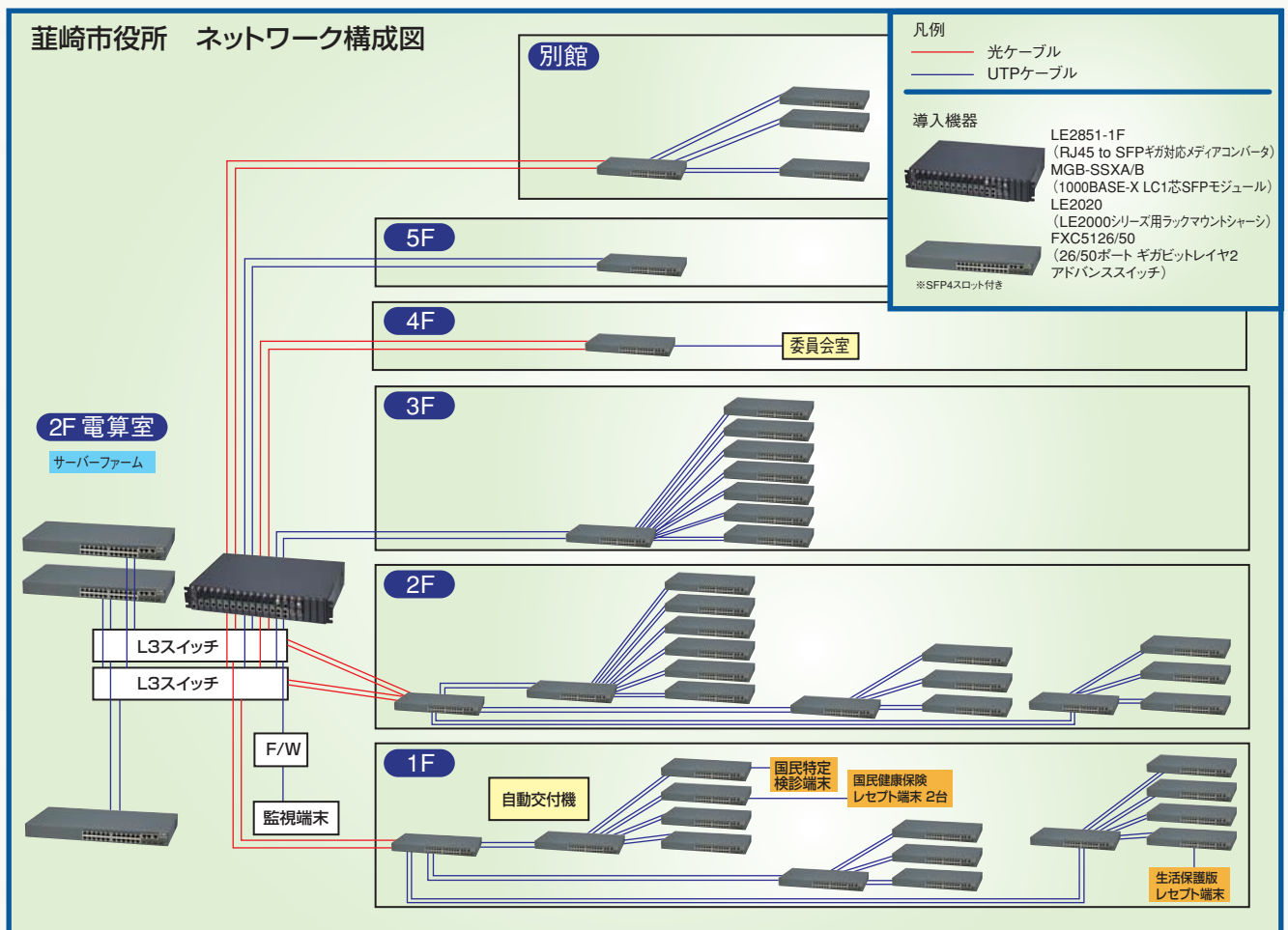


蕪崎市役所

蕪崎駅に降り立つと、まず、平和観音の優美な姿が出迎えてくれます。関東三観音の一つに数えられる平和観音は、市民の平和と安全を祈願し建てられたそうです。山梨県蕪崎市は、東京から約130km・県都甲府市から12kmの県北西部に位置する人口32,047人(平成22年5月1日現在)の小規模自治体です。市を縦断する形で釜無川(富士川)と塩川の2大河川が流れ、これらに西の南アルプスや東の茅ヶ岳の山岳地帯に発源する無数の小河川が、直交するように注いでいます。釜無川、塩川の流域には沃野が開かれていますが、これを二分して七里岩と呼ばれる台地が中央部を走るため、地勢は平地・山地・山麓地・丘陵台地が並存する複雑な様相を呈しています。今回の訪問先である、蕪崎市役所の駐車場や入り口にはサッカーボールのオブジェが配され「サッカーのまち蕪崎」らしい活気あるスポーツの町の雰囲気を感じさせてくれます。また、蕪崎市のイメージキャラクターであるニーラも随所で出迎えてくれます。

キャラクターで地域活性化

ニーラとは、堀貞一郎氏の進める物語(ストーリー)による地域活性化プロジェクトの1つとして2009年作成された創作絵本「ニーラ」から誕生した「神様のお使いで、夢をかなえる不思議なカエル」です。関連グッズも多数製作されており、4月からは125CC以下のバイク等市町村で登録が必要な5機種のナンバープレートに、蕪崎市オリジナルナンバープレートとしてニーラがあしらわれます。ニーラは蕪崎のキャラクターとして市内はもとより、観光に訪れた方々からも愛されています。また、市では、JR蕪崎駅前の旧ショッピングセンタールネスを改修し、「蕪崎市民交流センター」として現在整備をすすめています。市民交流センターは市民の生涯学習・文化芸術活動の発信、活動支援、会議室の提供のほか、センター内の公民館、図書館、子育て支援センターなどとの連携を通じ、あらゆる世代が集い交流できる市民主体の協働のまちづくりの推進を目指す施設です。



重視したのは「止まらないネットワーク」

このように大変活気ある蕪崎市で、昨年市役所の大規模なネットワーク整備が行われ、多数のFXC製スイッチ、その他製品が導入されました。

導入していた機器のリース期間切れをきっかけに、大規模なリプレースが行われ、これを機会にネットワークの見直しと、新たに機器の選定が行われたそうです。実施されたのは、主に本庁舎と別館です。また、それまで簡易的なネットワークしか入っていなかった保健福祉センターでは新たに整備と機器の導入が行われました。

リプレースにあたり重視された点は、

「以前は導入の際からメーカーが別れ、障害等が発生するたびに保守の手続きが煩雑だったため、窓口を一本化できることが重要でした。また、保健福祉センターでは機器をきちんとしたHUB収納BOXなどに入れておらず、むき出しになっていたため、勝手にケーブルを抜き差しされることによる障害が多発していたのですが、そういった管理の面の改善も目指しました。」(樋口様)

一本化による保守のし易さと共に、今回最重要視されたポイントは安定した動作、すなわち「止まらないネットワーク」でした。

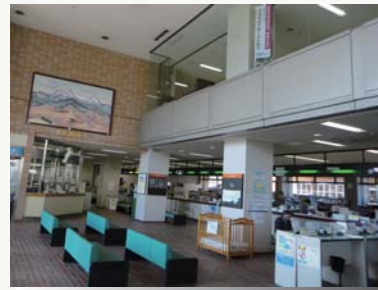
以前はL3スイッチがシングル構成、ディストリビューション、アクセスもシングル構成でしたが、今回は各フロアが光接続になった上、L3スイッチが二重化され可用性が増えています。

光ケーブルも2芯を使用されていますが、シングル1本で通信ができるものに変えたため、同じ2芯でもイーサチャンネルを組む2Gbpsに帯域増

することが実現しました。

可用性、帯域増に加え、5年後を目処に想定されるリプレースまで使用できることを見据えた上で、アプリケーションが増えても対応できるネットワークということが大きく変化したポイントです。また、今回は監視端末も導入、ネットワークの「見える化」が実現。トラブル時の迅速な対応に、過去の稼動状態のトレースも可能になります。「とにかく一番大切なのは止まらないこと。以前はコスト面からも二重化が難しかったけれど、近年の機器類の価格が下がったことで実現できました。価格面ももちろん大切ですが、ダウンさせないこととコストのバランスが重要でした。」(樋口様)

これらを踏まえ、各フロアのL2スイッチ、メディアコンバータ、SFPをFXC製品で統一することが出来、障害発生から復旧までの迅速な対応が可能となりました。



蕪崎市役所 窓口

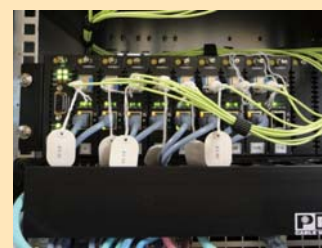
存在を忘れる機器

FXC製品をご使用頂き、これまでの感想を伺いました。

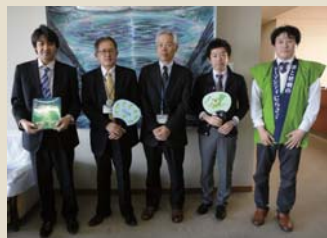
「HUB収納BOXの中に入っていて目に付かないので存在を意識することはあまりないです。開けて見る必要がないということは、それだけトラブルがないということだと思います。また、24時間空調が効いていればいいけれど、退庁してしまえば空調は止まる。夏場も土日を含めば場所によってはかなりの高温になります。こういった環境でも安心して使用できるというのは大きなポイント。環境という面では、担当の机の間にスイッチを置いているけれど、静かで音に関する苦情もないです。」(樋口様)

「存在を忘れられる機器」とはメーカーとして少し寂しいようにも思いますが、実は良いネットワーク機器の条件ではないでしょうか。最良の評価を頂けたと大変光栄に思います。

「夢と感動のテーマシティ蕪崎」をキャッチフレーズに、快適で活力ある都市を目指す蕪崎市。その素晴らしい未来の躍進にFXCが協力していけるのは素晴らしいことだと思います。



サーバー室内 スイッチとメディアコンバータ



●蕪崎市役所の皆様
(左から)
企画財政課 情報推進担当 副主幹 樋口治元様
企画財政課 課長補佐 藤巻明雄様
企画財政課 課長 水川秋人様
企画財政課 情報推進担当 主任 内藤宏貴様
企画財政課 情報推進担当 主査 平賀教人様



ニーラのグッズ(法被、団扇)



イベントに登場するニーラ

■蕪崎市 <http://www.city.nirasaki.lg.jp/>

山梨県蕪崎市は県北西部に位置し、甲府盆地北西端に属します。

鳳凰三山、茅ヶ岳、甘利山など雄大な山々に囲まれ、これらの山岳から流れる3河川が山紫水明の町蕪崎を彩っています。また、甲斐武田家の氏神である武田八幡宮、武田勝頼公が築いた未完の城、新府城跡等、武田家ゆかりの名所も多数あり、壮大な歴史のロマンを満喫することもできます。

廻り切れない程の観光名所が数々ありますが、近年特に絶大な人気スポットとなっているのは、わに塚の桜です。蕪崎段丘の中央に盛り上がる塚の上にある一本桜で、樹齢約300年のエドヒガンザクラです。残雪の山々を背景に咲き誇る1本桜は凜とした美しさで、見頃には他県からも沢山の観光客が訪れます。

蕪崎市のイメージキャラクター、ニーラは各種イベントなどに登場する他、蕪崎市の観光スポットの案内役としてYoutubeで動画配信中です。

わに塚の桜

